首都圏中央連絡自動車道　久喜遮音壁（内回り）工事

番号	質問箇所	質　問　事　項	回　　答
1	設計図面 51/56 Ⅳ-D-P1-4（H=1m）MI	材料表の種別欄には「金属板」と記載がありますが、構造図には「管理用ガラス扉」と記載があります。 扉の種別はどちらが正しいでしょうか。	12月21日付け質問書に対する回答①において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 遮音壁構造図（管理扉部）について、構造図に掲載している種別が誤っておりました。当該扉の種別については、「金属板」が正となります。上記については交付図書を訂正いたします。
2	設計図面 53/56 Ⅳ-D-P1-2（H=4m）MI	材料表では金属板（下部カバー）１枚、金属板１枚、管理用扉１枚となっておりますが、構造図では金属板（下部カバー）３枚、金属板１枚と管理用扉１枚になっております。構造図を正しいと考えてよろしいでしょうか。	12月21日付け質問書に対する回答①において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 遮音壁構造図（管理扉部）について、図面内の材料表に掲載している数値が誤っておりました。材料については、「金属板（上部カバー）１枚、金属板３枚と管理用扉１枚」が正となります。上記については交付図書を訂正いたします。
3	設計図面 9/56、54/56 非常電話部 Ⅳ-D-P2-4（H=1m）MI	地蔵第二高架橋L=8040の箇所について 割付図ではL=2924＋L=1115＋L=4000となっておりますが、構造図ではL=3556＋L=1510＋L=1500＋L=1475となっております。 どちらが正しいでしょうか。	12月21日付け質問書に対する回答①において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 割付図において、4000mmの遮音壁をⅣ-C1-4（H=1m）MIにて計上します。 また、非常駐車帯により寸法が異なるため、構造図の寸法は参考値として掲載しております。各非常駐車帯における寸法については割付図を参照してください。 上記については交付図書を訂正いたします。
4	設計図面 9/56、54/56 非常電話部 Ⅳ-D-P2-4（H=1m）MI 非常電話部 Ⅳ-D-P2-4（H=1m）MI（夜）	構造図がL=8043の構造は記載がありますが、L=6000とL=6897の構造が分かりません。扉部と標準部のスパンおよび構造をご教示願います。	12月21日付け質問書に対する回答①において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 非常駐車帯により寸法が異なるため、構造図の寸法は参考値として掲載しております。各非常駐車帯における寸法については割付図を参照してください。 上記については交付図書を訂正いたします。
5	設計図面 35/56 伸縮部　Ⅳ-J-C1-2（H=3m）MI	材料表では上部遮音壁 500×95×L1となっておりますが、構造図では金属板（下部カバー）の仕様になっております。	12月21日付け質問書に対する回答①において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 遮音壁構造図（伸縮部）について、上部カバーの仕様が正となります。 上記については交付図書を訂正いたします。